

山梨県総合農業技術センター機関評価表

山梨県総合農業技術センター機関評価委員会

評価項目	評価点	コメント
1 組織管理	3/5	限られた予算や人員の中では的確な活動が行われているが、ニーズの大きな岳麓試験地や八ヶ岳試験地には研究員が一人しか配置できない状況もある。本質的な解決としては研究員の増員が望まれる。
2 事業内容及び予算配分	3/5	農業技術センターは中核試験場であるため要望事項が多い。そのため研究員一人当たりの課題数が多いとも思えるが、現状は良く対応していると考えられる。この部分の改善に関しては県からの研究予算増強をもって対応して欲しい
3 施設の整備状況	2/5	研究員の能力の高さを最大限に生かして貰うには、現有の設備・備品では極めて不十分である。研究員の工夫だけでは無理なところも多く、より新鋭の装置や機器の配備があれば、高効率で実用性に富む実りある成果が得やすいと考えられる。
4 研究事業の成果	4.3/5	推進構想における取り組み、種苗供給、依頼分析等への対応が十分に行われていると思う。限られた予算や研究者の数のもとでは十分な成果を上げており、研究報告や学会報告も多数であり、研究員の質の高さが大いに感じられる。
5 普及啓発活動	4.3/5	各種取り組みがしっかり行われているため、一般の人を対象にした成果発表会への多くの参加者と、そこにおける活発な質疑応答など、情報共有もなされていて啓蒙活動は十分行われている。
総合評価	3.5/5	研究活動、啓蒙活動については、現状十分に行われていて、研究員の質の高さや研究員指導の的確性が良く分かる。研究員の高い能力を十分に生かすには新鋭の設備や備品の補充が強く望まれる。新鋭設備や備品などの物的な援助は人的不足を少しは補える可能性もあるが、それにも増して各種の要望に対して、より迅速かつ的確に対応することを可能にすることが大いに期待できる。

「注」 評価点の目安

評価	良好	やや良好	普通	やや不十分	不十分
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

限られた人材の中で県民のニーズに応える試験研究が十分行えるよう、センター内の各分野が連携したプロジェクトチームを作り、効率的な研究が行えるよう努めるとともに、国や大学また他の都道府県とも連携する中で効率的な課題解決を図り、同時に若い人材の資質向上も目指す。

設備や備品については、引き続き要求を続けてゆく。